

研究実施のお知らせ

2019年12月19日 ver.1.0

2020年12月22日 ver.2.0

2024年1月5日 ver.3.0

研究課題名

結腸癌における炎症性サイトカイン IL-33 受容体可溶性タンパク質 ST2 の発現解析

研究の対象となる方

2010年1月から2014年12月の間に島根大学医学部附属病院で結腸癌と診断され、手術を受けられた方

研究の目的・意義

大腸癌は、近年、炎症性サイトカインであるインターロイキン-33 (IL-33) が、この癌の増殖に関与していることで注目されています。また、IL-33 は ST2 というタンパク質と関係して、大腸癌の遠隔転移などに作用しているのではないかと考えられています。今回、私たちはこの ST2 というタンパク質を用いて、大腸癌の遠隔転移などに ST2 が本当に関与しているのか、また、どのように関係しているのかなどを明らかにすることが目的です。研究の対象は、大腸癌の手術にて採取された組織標本です。

研究の方法

この研究は 2010 年から 2014 年に手術された患者さんの大腸癌の組織標本を用います。カルテより大腸癌の病期分類（ステージ）などを調べ、組織標本を用いて ST2 に対する特殊な染色を行います。その後、ST2 が癌細胞にどの程度染まったかどうかなどを検討し、病期分類などとの関係があるかどうかを解析します。

参加によって得られるメリットとデメリットはありません。既に採取された組織標本を用いる研究ですので、あなたに生じる負担はありません。

また、試料・情報の提供に対する対価はありません。

この研究に参加された場合、診療情報や検体など、この研究に関するデータ等は、個人を特定できないように記号化した番号により管理します。あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

研究の期間

2020年3月～2027年3月

研究組織

この研究は島根大学医学部器官病理学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する試料・情報の管理責任者）：

島根大学医学部器官病理学講座 長瀬真実子

試料（検体）・情報の利用停止

ご自身の試料（検体）・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2023年9月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の試料（検体）・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部器官病理学講座 長瀬真実子

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2144 FAX 0853-20-2143